

医薬品産業ビジョンに関する懇談会について

医政局経済課

1. 趣旨

21世紀において医薬品産業は、優れた医薬品の創製を通じて国民の保健医療水準の向上に資するだけでなく、国民経済の発展にも大きく貢献することが期待されている。厚生労働省では、平成14年4月9日、国際的に魅力ある創薬環境の実現と我が国の医薬品産業の国際競争力を強化する観点から、「生命の世紀」を支える医薬品産業の国際競争力強化に向けて～医薬品産業ビジョン～」を案としてとりまとめ、公表した。

ビジョン案においては、医薬品産業の現状や今後の課題、産業の将来像等について提示するとともに、国としての具体策を盛り込んでいるが、これらの内容については、製薬企業をはじめとする関係者の共通の理解と認識があってこそ意味あるものとなり、また関係者の立場からの意見が有効な施策につながる事となる。

このため、今般、この医薬品産業ビジョン案について、製薬企業をはじめとする関係者の御意見を聴取し、ビジョン案の内容の充実とビジョン案に対する関係者の理解を深めてもらうことを目的として、『医薬品産業ビジョン案に関する懇談会』を開催する。

2. 会議の進め方

会議は、省内に設置する医薬品・医療機器に係る産業政策調整会議(主査：医政局長及び医薬局長)が毎回製薬企業や学識経験者等の関係者を招いて、意見を聴取する形式とし、6月末頃までに3回開催する。

(参考)

これまでの開催実績

第1回	平成14年5月14日
第2回	5月30日
第3回	6月14日

医薬品産業ビジョンに関する懇談会名簿

(第1回)

	氏名及び役職
【製薬業界等】	<p>藤山朗 (日本製薬団体連合会会長 (藤沢薬品工業(株)会長))</p> <p>永山治 (日本製薬工業協会会長 (中外製薬(株)社長))</p> <p>アラン B・ブーツ (PhRMA (米国研究製薬工業協会) 在日執行委員会委員長 (ファイザー製薬(株)代表取締役社長))</p> <p>マーティン・ライト (EFPIA (欧州製薬団体連合会) 在日執行委員会会長 (アストラゼネカ(株)代表取締役社長))</p> <p>浅野克彦 (PIフォーラム副会長 (医薬品産業情報研究会) (麒麟麦酒(株)取締役医薬カンパニー社長))</p>
【業界アナリスト】	<p>中川洋 (株)マナオクリエーション代表(前メリルリンチ日本証券(株)副会長)</p> <p>山本義彦 (日興ソロモン・スミス・バーニー証券会社株式調査部 マネジングディレクター)</p>

(第2回)

	氏名及び役職
【学識経験者等】	<p>伊丹敬之 (一橋大学商学部教授)</p> <p>富田憲介 (アンジェスMG会長)</p> <p>中村雅美 (日本経済新聞社編集局科学技術部編集委員)</p> <p>中村祐輔 (東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター長)</p> <p>南部鶴彦 (学習院大学経済学部教授)</p> <p>宮田満 (日経BPバイオセンター長)</p>

(第3回)

	氏名及び役職
【関係団体等】	上原明 (日本大衆薬工業協会副会長(大正製薬(株)社長)) 漆畑稔 ((社) 日本薬剤師会常務理事) 下村健 (健康保険組合連合会副会長) 菅谷忍 ((社) 日本医師会常任理事) 杉浦好昭 (医薬工業協議会会長(共和薬品工業(株)会長)) 松谷高顕 ((社) 日本医薬品卸業連合会会長(東邦薬品(株)社長)) 森戸要 (医薬品産業労働組合協議会会長 (武田薬品労働組合中央執行委員長))